

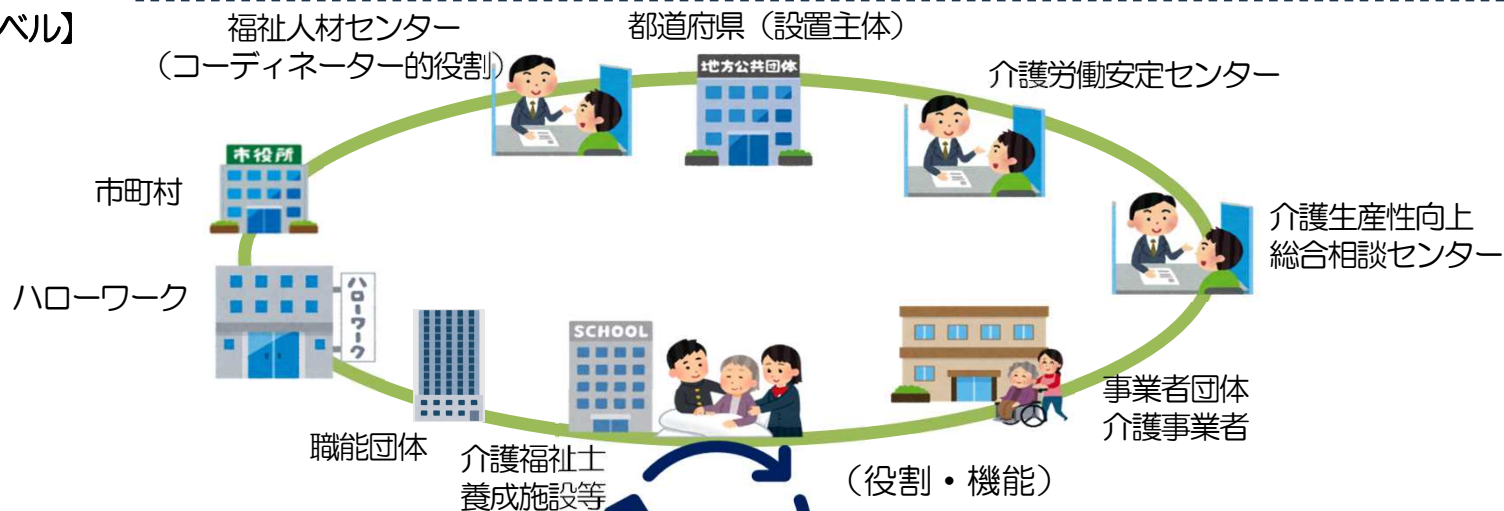
介護人材確保に係るプラットフォームについて

プラットフォームについて（介護人材確保の例）

- 地域の関係者のネットワークで「プラットフォーム」を構築し、関係者間で地域の現状の共有を図るとともに、各地域や事業所における課題を認識し、協働して課題解決に取り組む。※介護人材だけでなく、広く福祉人材の確保の観点から捉えることも必要

【第1層レベル】

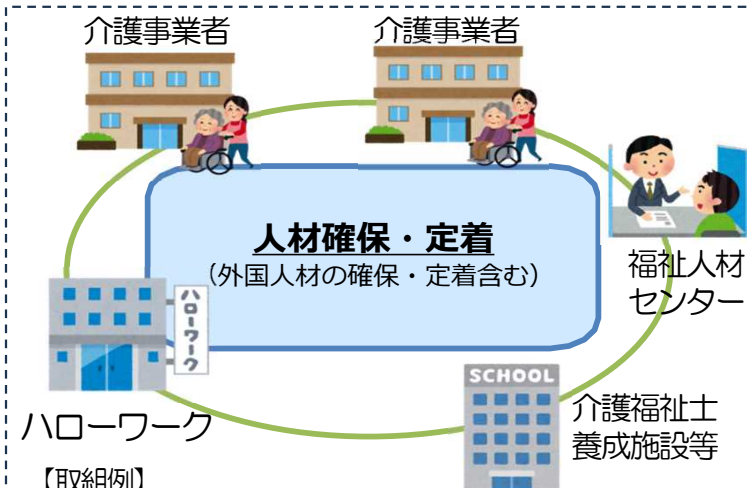
既存の協議会等と一体的に運営するなど、地域の実情に応じて適切な連携・役割分担



第1層・第2層の構成メンバーは地域の実情に応じてさまざまな関係者が参画することを想定

【第2層レベル（※）】 県よりも狭い圏域等

※地域の実情に応じて、第3層レベルなど、より重層的な取組も可能



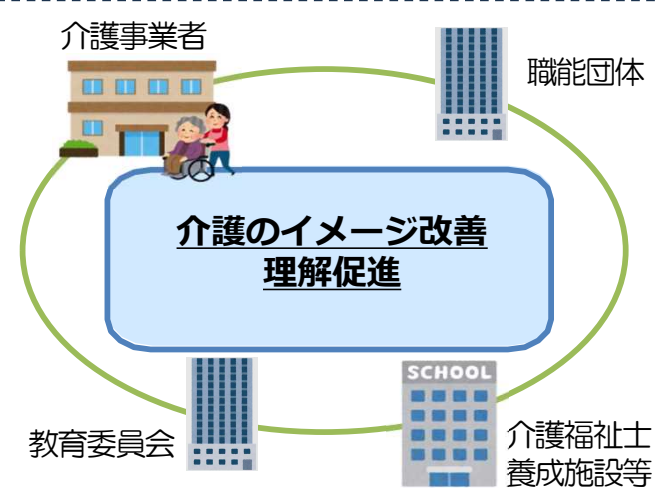
【取組例】

介護職員が介護福祉士養成施設のゲストスピーカーに介護事業者が共同で採用プロジェクトを推進
外国人材のマッチングから定着までの一体的支援



【取組例】

介護助手等への業務のタスク・シフト/シェアを図るための業務整理・切り出し支援
介護労働安定センターによる雇用管理改善・能力開発支援
生産性向上総合相談センターによるテクノロジー導入支援



【取組例】

介護福祉士による小中高への出前講座の実施
養成施設の学生による地域づくりへの協力

各地の協議会等の取組例

	地域の実情に応じた取組例		取組の実績等
京都府	きょうと 介護・福祉 ジョブネット	北部・福祉の学び創造チーム 高齢化率が高く福祉ニーズが高い京都府北部地域において、福祉人材を養成・確保し、職場定着の支援、魅力発信等に取り組む。大学生を対象とした福祉体験・資格実習受入プログラム構築等を行う「①大学実習受入事業及び業界参入促進事業」等を実施。 仕事理解促進チーム 小・中学生を対象に、授業を通して福祉の仕事の魅力に触れ、福祉の仕事についての理解を深め、興味を持ってもらう事を目的とした「②次世代の担い手育成事業」等を実施。	①令和6年度：実際に北部地域へ行った実習生数51名、実習受入数25事業所 過去年度含め、これまでに少なくとも20名の学生が府北部事業所に就職 ②令和6年度：12校、923名の小・中学生が参加
富山県	富山県 福祉人材確保 対策・介護 現場革新会議	地域からの介護人材参入促進事業 介護福祉士養成校学生、卒業生が地域住民等へ介護の魅力発信を行い、地域からの介護人材の掘り起こしや参入促進を図るもの。 二つの事業から成る。「①地域住民等への出前講座」「②介護に対する入門的研修の実施等からマッチングまでの一体的実施」 介護特定技能外国人マッチングから定着までの一体的支援事業 ③特定技能外国人のマッチングから定着までの一体的サポート体制を構築。	①出前講座：46会場1008人参加 ②入門的研修 ・基礎講座94名参加 67名就労・ボランティア意向、うち7名就労等 ・入門講座23名修了。業務体験32名修了 ③マッチング数5法人12名 ※R6年度実績(R7.3末時点)
広島県	広島県福祉・ 介護人材確保 等総合支援 協議会	福祉・介護職のイメージ改善・理解促進事業 長年県内の小・中・高・大学を訪問する学校訪問・出前講座を実施。介護のしごとの魅力発信を通じて、県内介護福祉士養成施設等へ進学する若者を輩出し続けている。	令和6年度訪問校数146校、参加者17,303人 令和7年度介護福祉士養成施設在学中の学生のうち、中学校で出前講座を受けた学生割合例：A校:54.8%、B校:66.6%、C校:68.6%、C校は令和6年度卒業生は100%介護系へ就職
静岡県	福祉人材確保・ 定着実践 研究会	福祉人材確保・定着実践研究会 県内福祉施設採用担当者、介護福祉士養成施設教員、人材センターが連携し主体的に参画する有志ネットワーク。 それぞれのリソースや強みを活かし「大学出前講座」「大学×福祉施設等の意見交換会」「福祉の魅力発信」「就職相談会」等の様々な取組を実施。	・大学出前講座：13回（7校） ・大学×福祉施設等意見交換会 3回実施、参加法人職員延数44法人、51人 ・働き方セミナー＆ブース相談会 参加者数86名（関係者含む） ※いずれも令和6年度実績
茨城県	「ちいすけ」 イバラキ	茨城県介護助手等普及推進事業 介護助手を普及することを目的に、地域のNPO法人と茨城県福祉人材センターが協働して実施。事業所向けに介護助手活用のための説明会を実施するとともに、介護助手養成講座を実施し、福祉の仕事に興味がある地域住民と事業所を結びつけている。	・開催地域19市町村 ・事業所説明会参加事業所54事業所 ・養成講座参加者355名 ※いずれも令和6年度実績 ・令和5、6年度で30名が事業所に採用 ・令和7年度までに県内市町村網羅を予定

きょうと介護・福祉ジョブネットの取組

R7京都府における介護・福祉人材確保・定着に向けた取組(検討体制)

令和6年度～令和8年度の3年間で新たに介護・福祉人材7,500人(府北部1,050人)の確保・定着を推進

きょうと介護・福祉ジョブネット

介護現場の職員、関係団体、職能団体等が参集し意見を交わすプラットフォーム
プロジェクトチームやワーキンググループを設置し、人材確保・定着の取組を実施

施策の方向性

幹事会

「福祉人材確保施策にかかる方向性確認・方針決定」

座長・コーディネーター会議(必要に応じて開催)

・WG等の連絡調整
・各WGに共通する課題の検討 等

ワーキンググループ(事業の企画・調整・実働)

仕事理解促進チーム

(小・中・高生及び教員・保護者に対する介護・福祉の仕事に関する理解促進事業の広域的な実施)

業界魅力発信チーム

(若者の参入促進に資する業界の魅力発信事業の検討及び実施) ※福祉系学部生だけでなく、一般学部生も対象

北部・福祉の学び創造チーム

(北部地域の魅力や地域資源を活かした福祉体験プログラムの構築及び施設・事業所の学生受入担当者の養成(指導方法の共有等))

協働戦略検討チーム

(介護・福祉現場において生産性向上を推進するための課題を明らかにし、必要な取組を検討)

看護職確保プロジェクトチーム

「潜在看護職の早期復帰システム」、「福祉現場における看護職の理解促進」

I 介護・福祉人材総合支援
センター事業の運営

II 福祉人材育成認証制度
等の活用促進

福祉人材育成認証事業推進会議

III 北部福祉人材養成
システムの推進事業

北部福祉人材確保・定着戦略会議

IV 介護・福祉現場の革新

外国人介護人材支援受入に係る検討会

趣旨: 介護・福祉人材の確保・定着のために関係機関・団体等の連携を促進するとともに、介護・福祉の仕事に関する啓発、情報提供等の活動を支援することにより、京都の介護・福祉人材の確保に資する。(平成21年設立)

呼びかけ: 団体(幹事)

京都府社会福祉法人経営者協議会、京都府社会福祉施設協議会、京都市社会福祉施設連絡協議会、一般社団法人京都府介護老人保健施設協会、一般社団法人京都私立病院協会、公益社団法人京都府介護支援専門員会、一般社団法人京都社会福祉士会、一般社団法人京都府介護福祉士会、京都精神保健福祉士協会、公益社団法人京都府看護協会、一般社団法人京都府医師会、公益財団法人介護労働安定センター京都支部、特定非営利活動法人きょうとNPOセンター、京都介護福祉士養成施設協議会、社会福祉法人京都府社会福祉協議会、社会福祉法人京都市社会福祉協議会、京都労働局、京都市、京都府

仕事理解促進チーム

小・中学校の児童・生徒を対象に、授業を通して福祉の職場を知り、仕事の魅力に触れることで、高齢者・障害者福祉の現状や福祉の仕事について理解を深め、興味を持ってもらうことを目的に実施している。

<取組事業例>

○次世代の担い手育成事業

・令和6年度実績: 12校923名の小中学生が参加

北部・福祉の学び創造チーム

府内でも高齢化率が高く、福祉サービスのニーズが高くなっている京都府北部地域において、福祉人材を養成・確保し、職場定着を支援するとともに、小・中・高校生向けに福祉の魅力発信、大学生を対象とした現場体験の受入、多様な働き方の普及等様々な事業を総合的に実施している。

<取組事業例>

○大学実習受入事業及び業界参入促進事業

・令和6年度実績: 実際に北部地域へ行った実習生数51名
実習受入数25事業所

・令和4年度～令和6年度までに少なくとも20名の学生が
府北部の事業所に就職

富山県福祉人材確保対策・介護現場革新会議

- 総合的な人材確保策を進めるとともに、介護現場の生産性向上に係る取組を推進するために設置。
- 会議として主に次の役割を期待
 - 1. 地域における課題やその解決策に対する検討
 - それぞれの立場における課題を提示し、課題の解決に向けた検討を行う。
 - 2. 施策への意見収集
 - 県で実施している(または実施予定の)施策について、介護現場に対してどのような効果があるのか、事業効果を高めるにはどうしたらよいか等について、意見を収集する。
 - 会議で得られた意見を踏まえ、より地域の最新の課題に沿った施策展開を図る。
 - 3. 富山県福祉人材確保対策・介護現場革新会議のメンバー間の連携強化
 - 会議のメンバー同士で情報交換を行うことで、それぞれが介護現場の課題認識を定期的にアップデートできる。

【構成団体】

県、介護福祉士会、ホームヘルパー協議会、介護支援専門員協会、老人福祉施設協議会、知的障害者福祉協会、社会福祉法人経営者協議会、介護福祉士養成校協会、介護労働安定センター、人材活躍推進センター、富山県新世紀産業機構、富山労働局、県社会福祉協議会、県教育委員会

会議には、検討項目についての具体的な対策案の作成等を行うワーキンググループを置く

※R6年度実績(R7.3末時点)

【構成】県、介護福祉士会、老人福祉施設協議会、社会福祉法人経営者協議会、介護福祉士養成校協会、介護労働安定センター、学識者、富山労働局、県下15市町村、社会福祉協議会

福祉人材確保対策WG

(1)介護の魅力発信事業

(2)地域からの介護人材参入促進事業

→介護福祉士養成校学生、卒業生が地域住等へ介護の魅力発信を行い、地域からの介護人材の掘り起こしや参入促進を図る

「地域住民等への出前講座」

・出前講座:46会場1008人参加。

「介護に対する入門的研修の実施等からマッチングまでの一体的実施」

・入門的研修をステップアップ型で実施:基礎講座94名参加。67名が就労・ボランティア意向、うち7名就労等
・入門講座23名修了。業務体験32名修了

外国人介護人材 マッチング等支援WG

(1)外国人介護人材受入の基本的考え方(理念)を共有→市町村、事業者、地域住民等への浸透

(2)外国人支援策

「介護特定技能外国人マッチングから定着までの一体的支援事業」

→1号特定技能外国人のマッチングから定着までの一体的なサポート体制を構築。介護事業所向け事業説明会、採用活動支援、異文化理解研修等の実施
マッチング数5法人12名

【構成】県、介護福祉士会、ホームヘルパー協会、介護支援専門員協会、老人福祉施設協議会、介護福祉士養成校協会、学識者、富山労働局、富山県新世紀産業機構、社会福祉協議会

介護現場生産性向上WG

(1)生産性向上等に関する相談窓口設置

(2)研修の実施

(3)人材確保、生産性向上の各種支援
→高齢者の自立支援や雇用環境改善に取り組む介護事業所の表彰

「がんばる介護事業所表彰」

自立支援部門、雇用環境部門各5事業所

(R6年度)

県内では2事業所(内1事業所は上記自立支援部門表彰)が令和6年度介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰 奨励賞

広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会の取組

広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会

- 質の高い福祉・介護人材の育成及び安定的な確保を目的として、関係者の役割分担と連携・協働により、計画的かつ一体的に事業を推進するため、平成24年2月に行政や関係団体で構成する推進組織 **広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会** を設置(全国初)
- 平成24年度から、事業の3本柱(人材のマッチング、イメージ改善・理解促進、職場改善・資質向上)に沿って、3つの部会で事業を推進
- 令和6年度から、福祉介護人材の確保・育成・定着及び**生産性向上**に取り組むため、協議会を**広島県介護現場革新会議**としても位置付け、**介護職場サポートセンターひろしま(通称:介サポひろしま)**を開設し、介護生産性向上総合相談センター事業を開始し、3つの柱と2つの部会について見直しを実施

3つの柱で取組を推進

魅力発信

人材のマッチング・資質向上

職場改善・生産性向上

【構成員】

県、教育委員会、県市長会、県町村会、労働局、介護労働安定センター、県社協、福祉・介護・看護・障害の関係団体、職能団体等が幅広く参加

マッチング・魅力発信・資質向上部会

確保

育成

定着

- 社会福祉人材育成センターによる無料職業紹介、就職フェア 等
- ホームページ(ふくしかいごネットひろしま)による情報発信 等
- 学校訪問出前講座、魅力発信イベント、再就職支援、人材育成研修 等
- 地域協議会※** による地域人材確保
※市町ごとの地域人材確保等推進協議会

職場改善・生産性向上部会

育成

定着

生産性向上

- 生産性向上に係る取組支援 等
介護職場サポートセンターひろしま
(令和6年7月開設)
- 魅力ある福祉・介護の職場宣言
ひろしまの認証 等
- 合同入職式、介護テクノロジー
定着支援 等

介護の理解促進等に係る連携の例

広島県福祉・介護人材確保等
総合支援協議会

1 概要

- 行政や職能団体、事業者団体で構成される「広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会」を設置。
- 人材のマッチング、職場改善・資質向上、イメージ改善・理解促進を3本柱としてさまざまな取組を実施。
- 平成24年度から令和元年度まで、介護の日イベントとして、**介護の日フェスタ**を8年連続開催（令和2・3年度はコロナで中止）。
- 令和4年度は、介護の日フェスタをリニューアルし、若者の福祉・介護分野への参入促進を目的に、若者が未来に向けて福祉・介護の魅力を発信していくイベント「**カイゴのガッコウ**」を実施。
- イベントワーキングを設置し、大学生を含めた若いメンバーで検討し、県内の高校を回って校長先生に話をしながら、高校生の参加者を集めた。
- 当日は、福祉系高校の生徒による介護実習体験発表会、現役の職員が介護という仕事について語る「**現役職員のカタリバ**」、介護職員・住職・棺屋が共に看取りについて語る「**異色のクロストーク**」、来場者がお棺に入れる、**納棺体験**など工夫した内容に。

2 カイゴのガッコウが生まれるまで



<事業の3本柱>

人材の
マッチング

(事業例)

- 無料職業紹介
- 就職フェア
- 再就職支援

職場改善
資質向上

- 経営セミナー
- 自己点検ツール
- 魅力ある職場宣言（認証制度）

イメージ改善
理解促進

- ・ **介護の日フェスタ**
- ・ **小中高大学出前講座**
- ・ 若者向け情報誌 Gentle 発行

広島県介護福祉士会では10年前から実施する出前講座で関係を築いた学校に「カイゴのガッコウ」を案内

カイゴのガッコウ

リニューアル



若者の意見を取り入れ、「介護の学校」から「カイゴのガッコウ」へ名称変更

イベントワーキング

- ・ 広島県及び市の老人施設連盟から若手の介護職員
- ・ 県立高等学校教諭・広島国際大学4年生
- ・ 広島県職員（医療介護基盤課）・広島県介護福祉士会員

若手を中心に
に構成

趣旨・目的

- 静岡県社会福祉人材センターは、静岡労働局、ハローワーク、介護労働安定センター静岡支部と日常的に連携。
(ハローワーク連携調整会議：年2回 (参加者) 労働局、拠点ハローワーク、人材バンク、人材センターの職員)
- 人材センター主催の相談会の周知協力のほか、ハローワークへの出張相談を年間で定期開催。(共催事業)
- 介護労働安定センターの実務者研修と人材センター主催の就職ガイダンス&ミニ就職相談会を同時開催。

取組内容

○人材センター主催「ミニ就職相談会」にハローワーク職員も参加。

☆R6：14回実施 参加者342人、相談391件、求職登録67人、採用64人

介護労働安定センターの実務者研修受講者(49人)が、授業の一環として参加
(受講者には就職ガイダンスを事前に実施し、求職登録を案内)



○ハローワーク出張相談 (県内各地で定期開催)

ハローワークに出向き、マッチング担当者を講師とする就職ガイダンスと個別相談(福祉のお仕事相談)を実施する。

- ・12回/年×7か所(富士、沼津、清水、静岡、焼津、島田)
- ・11回/年×1か所(三島)
- ・6回/年×6か所(伊東、御殿場、富士宮、掛川、磐田、榛原)
- ・3回/年×1か所(下田)

☆R6：122回実施 相談435件、相談求職登録167人、採用53人

福祉のお仕事 セミナー&相談会		
●各拠点のハローワークと連携して実施します。●		
ハローワーク下田 R7 5:27(火)・9:30(水) R8 1:27(火) 13:30-15:00 0558-22-0288 下田市5-5-29	ハローワーク伊東 毎月第4火曜日 13:30-15:00 0557-37-2605 伊東市大原1-5-15	ハローワーク三島 毎月第3火曜日 9:30-11:30 055-980-1300 三島市文相町1-2-112
ハローワーク沼津 毎月第4水曜日 13:30-15:30 055-931-0145 沼津市南町2-1	ハローワーク御殿場 毎月第2火曜日 13:30-15:30 0550-82-0540 御殿場市東平井1-11	ハローワーク富士 毎月第2火曜日 13:30-15:30 0545-01-2151 (会場) 大宮ビル
ハローワーク富士宮 毎月第4金曜日 13:30-15:30 0544-28-3129 富士宮市神田町1-4-3	ハローワーク清水 毎月第2月曜日 13:30-15:30 054-351-8999 静岡市清水区西原1-2-15	ハローワーク静岡 毎月第4水曜日 13:30-15:30 054-238-8609 静岡市駿河区西島235-1
ハローワーク焼津 毎月第2水曜日 13:30-15:30 054-628-5155 (会場) 8Vビル	ハローワーク島田 毎月第3火曜日 13:30-15:30 0547-36-8609 島田市幸通1-677-4	ハローワーク榛原 毎月第4月曜日 13:30-15:30 0548-22-0148 (会場) 佐藤ビル
ハローワーク掛川 毎月第4水曜日 13:30-15:30 0537-22-4185 掛川市駅前4-4	ハローワーク磐田 毎月第3月曜日 13:30-15:30 0538-32-0181 磐田市月付2059-4	ハローワーク浜松 毎月第3金曜日 9:30-11:30 053-541-8609 【遠隔市会】 浜松市中央区浜町50-2

福祉のお仕事紹介



例：福祉人材確保・定着実践研究会（R5～6実績）

県内福祉施設採用担当者の有志のネットワークを令和元年度から立ち上げ、本音で語り合える関係を構築。Zoomや対面での意見交換会をベースとしているが、「大学への出前事業」など実働面においても、連絡一本で多数の協力申し出があるなど、**県域の人材確保のために動けるネットワーク組織**となっている。

- ✓ 県内の福祉施設採用担当者、介護福祉士養成施設（大学、専門学校等）教員、静岡県社会福祉人材センターが連携し、**それぞれが主体的に参画するネットワーク組織**。
- ✓ 登録法人は45法人、各回10～20法人が参加。人材確保という共通課題に対して、自法人だけでなく**福祉業界全体の問題として問題意識を持った法人が参加**している。
- ✓ 各法人の「人材確保・定着」についての情報交換と併せ、県域で取り組めるアイデアなど、「**静岡県全体の福祉人材確保・定着**」のために**何ができるのかを協議**している。

<令和5年度に実施した会議>

- 夜勤（啓発マンガの企画会議）
- 福祉系養成校（大学教員）と施設の意見交換会
- ダイレトリクルーティング／学生へのWEBアプローチ（※ゲスト FACE to FUKUSHI）
- 求職者の動向・紹介会社の戦略編

<令和6年度に実施した会議>

- 福祉系養成校（大学教員）と施設の意見交換会（別紙）
- 中核推進会議（次年度方針）



「事務局案に意見をもらう」ではなく
現場目線で一緒に考える場

県単位でのネットワークだけでなく、
地域単位でのネットワークを柔軟に組み
み合わせ、市町社会福祉協議会との連
携を強化させながら地域課題の議論や
活動を具体化している点に注目。

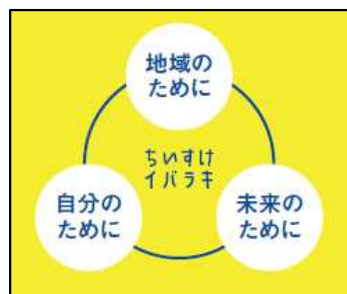
目的

介護職員が担う一連の業務のうち掃除や洗濯、配膳等の周辺業務を担う介護助手を普及することで、介護職員の負担軽減とそれに伴い期待できるサービスの質の向上、また、地域の多様な働き方を支援することにより、介護人材の確保を図ることを目的としています。

事業概要

介護施設・事業所等における「助かる」（「ちょっと人手がなくて困っている」、「誰かにやってもらえたらいいな・・・」）事柄と、「助けたい」（「社会に少しでも貢献したい」、「施設のお手伝いをしたい」）気持ちを持った地域の多様な方々とをマッチングします。
ちいすけイバラキの実施には、NPO法人と茨城県福祉人材センターが協働してすすめています。

介護現場 & 地域社会を支える担い手



事業の主な内容

◎事業所説明会（オンライン：1時間）

事業所が介護助手の役割を認識し、職場環境の改善や業務負担の軽減等を図る上で介護助手の活用を検討する機会として開催します。

実際に介護助手を導入している事業所から、導入の効果や留意点等についても説明をします。

◎介護助手養成講座（市町村ごとに開催：1日）

福祉の仕事に興味がある方等を対象に、介護の基礎的な知識を身に付ける講座を開催し、また、事業所と参加者との交流会も行い、採用・就労に向けた可能性を検討する機会とします。

～プログラム～

認知症の理解

納得！介護保険制度

知って安心介護予防

オンライン事業所見学会 & 先輩ちいすけインタビュー

事業の主な成果

年度	開催地数 ※合同・複数開催地 含	事業所説明会 参加事業所	養成講座 参加者
令和5年度	7市町	48事業所	139名
令和6年度	19市町村	54事業所	355名
令和7年度	16市町村	-事業所	-名

令和6年度末までに、30名が事業所に採用され、活躍しています。

※本事業は市町村ごとに推進し、令和5年度から令和7年度の3年間で県内を網羅する予定としています。



先輩ちいすけ
インタビュー動画

■取り組み内容のPDCA

- ・市町村ごとに推進し、令和5年度から令和7年度の3年間で県内を網羅する。
- ・「ちいすけ」登録者（求職者）のマッチング調整
- ・新規受入事業所開拓
- ・ちいすけ採用事業所・採用者フォローアップ
- ・ちいすけ普及に向けたプログラムの検証・パッケージ化

【ちいすけ誕生までの流れ】

